



111号
2018年9月・10月



はじめは大事 Well begun is half done

例年総会

2018年6月23日にNKKの例年総会がコルカタの3 Ho Chi Minh Sarani アンティロープホテルで開催された。今継続中のNKKS会長の、ジャヤンタ サハ、および他のメンバーのスピーチの後、事務局長のサンジョエ ガングリさんが年次報告書とリーマバスさんが年次会計報告書を読み、その後新しい委員会のために提案された名前をバブリチョウドゥリさんが読み上げた。前の委員会のメンバーは残り、そこに3人、クシュブー アガルワルさん、スマナ バタチャリヤさん、デビ ダスさんが入った。今年の実行委員は去年と同じ。

チーフ パトロン: ニガム 和子先生
会長: ジャヤンタ サハ
副会長: プナム ナンダ デ
事務局長: サンジョエ ガングリ
副事務局長: ゴウリ サンカル パル
会計: リーマ バス

アローク バス

フレッシュワズウェルカム

新入学生を歓迎するためにNKKは2018年7月25日にサラットサミティでイベントを開催した。このプログラムは6時半NKK副会長のプナム ナンダ デ先生の歓迎の言葉で開始された。雨が降っていたにもかかわらず約33人の学生が出席した。ニガム和子先生、ルマ先生と事務局員の幾人かが出席した。NKK会長のジャヤンタ サハさんは学生たちに感動的なスピーチを聞かせた。新学生の3人が日本語の歌を歌い、事務局員も日本語の歌を2曲歌った。

スマナ デ

22回目印日学生会議



NKKの34回目の創立記念日



先生の日おめでとうございます！



9月
5日



8月15日「コミュニオン」ホールで創立記念日を楽しんでいる先生、NKKのメンバー達、印日学生会議の参加者同士

加藤 麻奈美さんとのインタビュー



加藤麻奈美さんは在コルカタ日本国総領事館で広報文化を担当されてる。出身は京都府の宇治市というところだ。2016年4月の終わりに初めてコルカタに来られて、あっという間に2年以上たってしまったそうだ。

Q インド、特にコルカタの人の印象と経験はいかがでしょう。

A コルカタの人は、一度知り合いになると、とてもフレンドリーでおしゃべり好きという印象です。仕事を通じて色んな人と会う機会がありましたが、どの方もみんな明るく楽しい方でした。

Q インドの文化と日本の文化の似ているところ、似ていないところは何かと思われていますか。

A 日本の文化は歴史的にインドの影響を受けているので、似ているところはたくさんあります。今年の金子純恵さんのコンサートでも、日本の伝統楽器・三味線がインドの伝統楽器・シターと「親戚」だと知り、日本とインドの文化的なつながりを感じました。

似ていないというか、違うなあと思うところは、日本では年齢を問わずアニメが人気ですが、インドではアニメはどちらかというと子ども向けにとらえられているようですね。

Q 加藤さんはインド・コルカタの一番好きなのところは？

A うまく言えないのですが、一言で言うと「多様性」でしょうか。当たり前のことかもしれませんが、コルカタには本当に多くの人っていて、みんながそれぞれ全然違って、それを見ていると「私も自分らしく、自分のやりたいようにやろう」と感じます。

あとは、美味しいレストランがたくさんあるところです！私はお肉もお魚も大好きですが、コルカタにはどちらも楽しめるレストランがたくさんあり、よく外食しています。

Q 趣味は？

A 映画鑑賞です。といっても、それほど多くの作品を観ている訳ではありませんが。

インドで観た映画の中で一番印象に残っているのは、「ダンガル (Dangal)」です。

「バーフバリ (Baahubali)」も観ましたが、話が複雑なのと英語字幕を追いかけるのに必死で、途中で誰が誰かわからなくなってしまいました。(笑)

Q 他の外国への VISIT/経験がありますか。

A 大学生の時に、カナダに短期留学をしました。今でも大好きな国の一つです。

今年の1月には、同僚とスリランカを旅行しました。長距離バスでコロombo、ニゴンボ、キャンディ、シーギリヤを回りましたが、どこも美しく人々が優しくったのが印象的でした。

Q コルカタでの思い出深い経験についてお話し下さい。

A コルカタでの一つ一つの仕事が、全て私の良い経験・思い出になっています。

プライベートでは、昨年、両親が私を訪ねてきてくれました。父も母も海外旅行には慣れていませんが、日本からはるばるインドまでたくさん日本食を持ってやって来て、父は私の家の修理をしたり、母は私が普段食べない野菜中心のご飯を作ったりしてくれました。私の同僚と一緒に食事に行ったり、二人ともインド旅行をとても楽しんで帰りました。

Q NKK のメンバーたちにお伝えしたいことは何でしょうか。

A これまでNKKの皆さんと一緒に、インドと日本の文化をつなぐ様々なプログラムを実施してきました。これからも、どうぞよろしく願いいたします！

アローク バス

9月・10月のプログラム

◆ 日本語クイズ： 2018年9月1日
RKMで 午後2時から

◆ ビジョヤ サンミラニ： 2018年10月27日
サラット サミティーで 夜6時

シネマニッポン29

8月の3日、4日、5日の雨の午後、Nandan II に多くの日本映画愛好家が集まった。小さなホールは満席になり入場も「先着順」に限



られていたため、多くの失望者が出た。

最初と最後のショー（1日に2つのショー）はそれぞれ新海 誠監督

のアニメーション「秒速5センチメートル」と「言葉の庭」だった。両方とも、10代の学生若者向けで彼らの心拍を早くさせ、試練、難題、期待などに耳を傾け、アニメのSFの期待からはるか遠い。新海監督は現実の風景の細部の描写に秀でていて、これらの映画は人間のキャラクターだけが「アニメ」であることを思い起こさせた。

最初の日（第二ショー）上映された「書道ガールズわたしたちの甲子園」という映画にはまたびっくり。猪股 隆一監督は映画の強烈なキャラクター分析の事例を挙げられた。書道と製紙の伝統的な芸術の保存の価値を自らの誇りや成功の感覚よりも上に置く少女たちの話だった。書道は時間とスタイルを超越し、それを爽やかに復活させた。

60年代の有名な黒沢明監督のことは言うまでもない。19世紀の日本の状態とその時暮らしていた圧政・思いやりがあるお医者さんの



「赤ひげ」という綽名で知られた新出 去定医師と若くて横柄な安本 昇医師について彼の大胆な描写だ。黒

沢監督が伝える貧困や無教育が愛情や思いやりを破壊する社会悪の訓戒は今の我が国にも適応する。

平山秀幸監督の「やじきた道中テレスコ」は日本の江戸時代の生活のコメディだ。話は「テレスコ」、と名付けられた未知の魚の物語で一種の落語と絡み合っている。この映画では、女性の弱点とその時代に自分自身を救うための巧妙ないたずらという印象だ。

「七人の侍」の話は誰でも知っているだろう。

白黒映画にもかかわらず、黒沢監督は16世紀の貧しい農家の生活の詳細を明確に描写された。神様や盗賊による絶え間ない恐怖の忘れられない話だ。

NKKの一員としてシネマニッポンで上映された映画をすべて楽しみ、観客からこのショーに対するお褒めを聞いたり日本の映画に対する彼らの熱意を聞くことですごく満足した。



書道2018年



「書道は、インクと筆を使って紙に言葉の魂を表現する芸術形式」 - 赤川薫

日本語会話協会は8月10日に在コルカタ日本総領事館と共催で、RKMにて書道のワークショップを開催した。日本の書道のエキスパートの長浜 浩子先生がこのワークショップを開いて下さった。東京家政大学付属高等学校を定年退職された書道の先生でコルカタで何回も書道のワークショップを開催され、インドには35回以上も訪問。主に日本語の学生たちの約70名が参加し、午後4時30分から開始。NKKSの副会長のプーナム・デイさんと多賀政幸総領事が、書道の重要性と歴史について話されたあと、長浜先生は書道芸術を紹介。先生は参加者に書道に必要な道具を説明された。例えば、筆（ブラシ）、墨（インク）、半紙（和紙）、硯（水と混ぜて墨をする石）、文鎮（紙を適所に保つために特別な紙押さえ）、下敷き（紙の下に敷く布）。

すべての参加者が、長浜先生の書かれた「愛」、「夢」、「木」等の漢字のお手本で実際に体験した。参加者、先生方、NKKのメンバーは長浜先生と加藤真奈美さんと一緒に記念写真を撮った。長浜先生は参加者にご自分が書かれた書道のカードを贈られた。このイベントは思い出に残るもので日本歴史や文化を垣間見た。

アハリ ロエ

日本語クロスワード
(9月 - 10月)

1	2	3	4.		5
6				■	
7		■	8	9	
	■	10			■
11	12	■	13		14
15			■	16	

ACROSS

- 1) Slightly bright
- 6) Form
- 7) Hawk
- 8) Formal marriage interview
- 10) Caption
- 11) Frame
- 13) Famous sport in Japan
- 15) Synonym
- 16) Wealth

DOWN

- 1) To undertake
- 2) Watermelon
- 3) Leg
- 4) Disturb/stir up
- 5) Celebration
- 9) Footsteps
- 12) Repentance
- 14) Ocean

モハシュウエータ バス ムカルジー

(7月-8月)

日本語クロスワードの答え

1 た	2 た	3 く	■	4 か	5 じ
6 か	い	も	7 の	■	び
8 い	け	■	9 ぞ	10 う	き
■	11 つ	12 か	ま	る	■
13 し	■	14 す	し	■	15 た
16 か	い	か	い	し	き

編集者：トヌスリ チャタルジー・アロークバス 翻訳者：トヌスリ チャタルジ

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター

綴り換え-56

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう。

ことわざは何ですか



1. こねきねま(Figure of a cat with one paw raised)

			○	○
--	--	--	---	---

2. いんにゆう(Hospitalization)

○				
---	--	--	--	--

3. んてさこう(Crossing)

○				
---	--	--	--	--

4. んだばく(Bomb)

○			○
---	--	--	---

シヨントウ デブナート

綴り換えの答え-55

- 1. きさい
- 2. かしながら
- 3. いさましい
- 4. せいねん

き	し	か	い	せ	い
---	---	---	---	---	---